

番 号	13 請願第 10 号 （即 決）
受理年月日	平成 1 3 年 1 2 月 3 日
件 名	『特殊法人改革にあたって、公団賃貸住宅の公共性を存続させること』を求める意見書の提出について
提 出 者	牟礼団地自治会長 伊東 典光 三鷹台団地自治会長 鈴木 富雄 新川公団自治会長 井上 尋之 三鷹駅前市街地住宅自治会長 阪口 清子
紹 介 議 員	岩田 康男、杉本 英騎
要 旨	
〔請願の趣旨〕 私どもの団地は、昭和 31 年供用開始（日本最古）の牟礼団地を初め、いずれも昭和 30 年代に供用開始された団地です。大きくは、2 度の公団改革で、私どもの住生活を脅かす大波に襲われました。 しかし、それは、貴議会の度重なる意見書提出や、国会審議での附帯決議のお陰もあって凌ぐことができました。 昨今のマスコミ報道によると、政府と与党は都市基盤整備公団を廃止するという方針で、同意したとありますが、具体的な手法は、何一つ明らかにされておられません。 万が一の場合、今機能している、低所得の高齢者に対する特別措置等の存続について、大きな危惧の思いを禁じ得ません。家賃を払えなくなった高齢の住民は、家賃の安い民間住宅へ転居するか、公営住宅（主に都営）に移るかしか方法がありません。 前者は、高齢者と契約しない大家さんが多いことで、後者は、公営住宅の圧倒的な不足で、解決は極めて困難な事情があります。 また、私たちの自治会は、三鷹市や近隣の町会・自治会、公団と手を携えて、好ましい住環境、コミュニティを維持するために努力を重ねてきました。単に、公団廃止というだけで、こうした活動の積み重ねに対する評価が、全く見られないのも、心配のひとつです。 私たちは、10 月 26 日に、全国自治協を通じて、小泉行政改革推進本部長に「特殊	

法人改革にあたって、公団賃貸住宅を公共住宅として存続させることを要請します」
等という団地居住者の第一次署名を提出しました。

貴議会におかれては、この請願の趣旨をご理解くださって、関係方面に意見書を提出して下さるようお願いいたします。

〔請願事項〕

『特殊法人改革にあたって、公団賃貸住宅の公共性を存続させること』